

第10回

動物介在教育・療法学会学術大会の ご案内

学術大会テーマ：

動物介在教育・療法における動物と教育・医療の連携



会 期：2017年11月17日(金)・18日(土)・19日(日)

会 場：帝京科学大学 千住キャンパス 本館(東京都足立区)

主 催：特定非営利活動法人 動物介在教育・療法学会

後 援：足立区

足立区教育委員会

一般社団法人日本作業療法士協会

社会福祉法人日本介助犬協会

帝京科学大学

(あいうえお順)

第10回動物介在教育・療法学会学術大会 趣意書

第10回動物介在教育・療法学会学術大会
学会長 石井孝弘、押野修司

近年、動物の存在が教育の質及び学習意欲の向上、人間の健康増進、高齢者や障害者のノーマライゼーション及び子供の心身の健康的な発達に大きな役割を担っていることが認知されはじめています。そして、動物介在教育や動物介在療法という名称についても知られるようになりました。しかし、一定の基準を満たす動物とハンドラー、そして特別なトレーニングを受けた専門家（動物介在教育エドゥケーターなど）の存在や役割については、教育の専門家である教師、指導員等、医療の担い手である医師、看護師、理学療法士、作業療法士等に、ほとんど認知されていないのが現状です。

当学会では、平成23年から「動物介在教育指導者養成講座」「セラピーアニマル評価者養成講座」が開講され、現在、動物介在教育アシスタント、動物介在教育エドゥケーター、セラピーアニマル評価者のコースが開講されています。一方、平成27年からは「動物介在療法アシスタントおよびコーディネーター養成講座」の検討が開始されました。

今回の学術大会のテーマは「動物介在教育・療法における動物と教育・医療の連携」としました。動物側の専門家と人側の専門家が連携するためには、様々な課題があると考えられます。そこで、教育・医療の分野で、先駆的な実践をされている先生方にご登壇いただき、実践に至る経緯、実践内容、連携についてご講演いただきます。また、全国各地で実践されている動物介在教育・療法の取り組みについての成果の発表、意見交換を通して動物介在教育・療法の研究を前進させ、多くの人々に意味のある学術大会にしたいと考えております。

開催要項

名 称 第10回動物介在教育・療法学会学術大会
テーマ 動物介在教育・療法における動物と教育・医療の連携
会 期 2017年11月17日(金)・18日(土)・19日(日)
会 場 帝京科学大学 千住キャンパス 本館(東京都足立区千住桜木2-2-1)
主 催 特定非営利活動法人 動物介在教育・療法学会
〒210-0844 神奈川県川崎市川崎区渡田新町1-6-10
TEL : 044-272-8421 FAX : 044-272-6041
学会長 石井孝弘(帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科)
押野修司(埼玉県立大学 保健医療福祉学部 作業療法学科)

第10回学術大会事務局

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820 公立大学法人 埼玉県立大学内 押野研究室
学会ホームページ <http://asaet.org/>
問い合わせアドレス oshino-shuji@spu.ac.jp

プログラム

勉強会 『療法学の基礎知識』 石井孝弘先生（帝京科学大学 東京西キャンパス）

一般演題（活動報告） 口述発表 5題 予定

一般演題（研究発表） 口述発表 5題 予定

基調講演 「医療における勤務犬の導入」

『勤務犬導入の経緯と現状』 長江秀樹先生（聖マリアンナ医科大学病院）

勤務犬ミカは、2015年4月から医療機関に勤務する犬として社会福祉法人日本介助犬協会より貸与されたスタンダードプードルのオスである。この講演では、動物介在療法における、勤務犬導入の経緯、医療スタッフと動物側のスタッフの連携の現状、勤務犬の飼養環境、勤務環境、健康管理、現状の課題他について、お話しいただく予定である。

『勤務犬導入における支援』 高柳友子先生、訓練部 水上言先生（日本介助犬協会）

社会福祉法人日本介助犬協会の立場から、「ミカプロジェクト」を始めることになった経緯やハードルとなったこと、課題や展望、犬のどんな適性を見て、どんな訓練を行ったかなどについてご講演いただく予定である。

市民公開講座 「足立区での動物介在教育」

『小学校での動物介在教育』 足立区教育委員会

『大学地域連携による動物介在教育』 花園 誠先生（帝京科学大学）

2010年より足立区教育委員会と帝京科学大学が連携して小学生を対象に「どうぶつ触れ合い教室」とよばれる動物介在教育を展開している。年間15校を対象に行われている本活動は学生を主体に実施されている。毎年1,000名を超える小学生を対象とした活動を実施する事業を作り上げてきた教育者と動物の専門家との連携について、これまでの経緯や現状、そして今後の課題についてお話しいただく予定である。

教育講演

『感覚統合と動物介在療法』 石井孝弘先生（帝京科学大学）

事例：『馬を用いた発達支援』 高橋 智先生（特定非営利活動法人 EPO）

シンポジウム

『動物福祉と動物介在療法の関わり～動物介在教育からの提言』

報告

『動物介在療法アシスタントおよびコーディネーター養成講座』

懇親会

学 術 大 会 プ ロ グ ラ ム

日付	時間	内容	担当
11月17日 (金) (講義室) (食堂)	17:30～19:30 19:30～20:30	勉強会「療法学の基礎知識」 講師:帝京科学大学 石井孝弘先生 交流会	
11月18日 (土) (講義室) (食堂)	10:00～10:10 10:10～12:00 12:00～13:00 13:00～14:00 14:00～15:20 15:20～15:30 15:30～16:30 16:30～17:30 17:40～19:30	開会あいさつ 大会長あいさつ 演題発表(研究・実践報告) 昼休み 基調講演「医療における勤務犬の導入」 ・講演 1「勤務犬導入の経緯と現状」(質疑含め 60分) 聖マリアンナ医科大学病院小児外科 長江秀樹先生 ・講演 2「勤務犬導入における支援」(質疑含め 80分) 日本介助犬協会 高柳友子先生(30分) " 訓練部 水上 言先生(30分) 休憩 市民公開講座「足立区での動物介在教育」 ・講演 3「小学校での動物介在教育」(質疑含め 60分) 足立区教育委員会 ・講演 4「大学地域連携による動物介在教育」(質疑含め 60分) 帝京科学大学 花園 誠先生 懇親会	柿沼先生 押野 座長:理事会 座長:大会長 座長:山本
11月19日 (日) (講義室)	10:00～12:00 12:00～13:00 13:00～14:30 13:00～14:00 14:00～14:30 14:30～14:45 14:45～16:15 16:20～16:50 17:00	演題発表(研究・実践報告) 昼休み 教育講演 ・講演 5「感覚統合と動物介在療法」(60分) 帝京科学大学 石井 孝弘先生 ・講演 6「馬を用いた発達支援」(質疑含め 30分) 特定非営利法人 EPO 高橋 智先生 休憩 シンポジウム(90分) ・「動物福祉と動物介在療法の関わり ～動物介在教育からの提言～」 講師:当学会動物介在教育エドゥケーター 動物介在療法委員会進捗報告(30分) ・「動物介在療法アシスタントおよびコーディネーター養成講座」 講師:東京福祉大学, ASAET 理事 佐野葉子 東山田クリニック 副院長 土田浩生 埼玉県立大学, ASAET 理事 押野修司 閉会のあいさつ	座長:理事会 的場先生 佐野先生 押野

会場地図

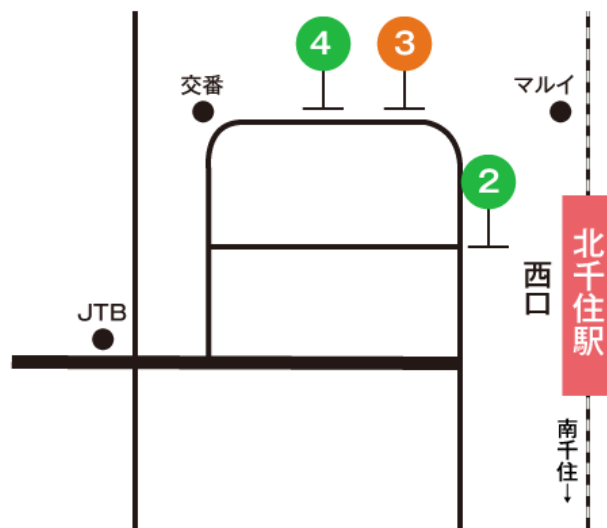


JR 常磐線、東武スカイツリーライン（東武伊勢崎線）、東京メトロ千代田線・日比谷線、つくばエクスプレス「北千住駅」下車、または 京成本線、東京メトロ千代田線、都電荒川線「町屋駅」下車

※千住キャンパスには駐車用スペースがございませんので、電車・バスなど等公共交通機関をご利用のうえ、お越してください。

※北千住駅西口からバスで5分（道路状況により5分以上かかることもあります）、千住桜木バス停下車 徒歩で約2分

<北千住駅西口バス乗り場>



③番：都営バス 端44「駒込病院前」王45「王子駅前」行き

②番：東武バスセントラル 北01「西新井大師(本木新道経由)」行き

④番：東武バスセントラル 北02、03「西新井大師」、北04「西新井駅西口」、北05「江北駅」行き

詳細は帝京科学大学のホームページを参照ください

<https://www.ntu.ac.jp/access/senju/index.html>

【演題募集について】

一般演題(研究・実践報告)の発表は、第一日目と第二日目(11月18日と11月19日)午前中の開催を予定しております。

つきましては、下記のとおり発表演題募集をご案内申し上げます。なお、発表者は当学会の会員で会費滞納のない方とし、発表は一題までとさせていただきます。共同発表者につきましては、その限りではありません。学会参加の受付につきましては別の参加申し込みフォームにてお願いいたします。なお、発表方法(口頭あるいはポスター)につきましては、お申し込みいただいてから当学会学術担当で決定させていただきますのでご了承ください。

1. 演題について:

当会は動物を介在させて人の教育、健康、そして福祉の発展に寄与することを目的としておりますので、発表内容はその目的に沿うものいたします。そのため、お申し込みいただいた発表内容につきましては、当学会学術調査研究担当にて審査させていただきます。

2. 申し込み手続き:

以下の「申し込み内容」の項目を下記までお送りください。お申し込みをいただいてから、受付確認の返信をお送りします。その後、審査の結果 受理の場合、抄録規定をお送りします。

3. 申し込み内容:下記の1)と2)が必要です

1) **エントリーシート**:発表者数把握のために実施します。①発表種別(実践報告 or 研究発表)、②演題名(仮題, 変更可)、③発表者および所属、④申し込み者及び連絡先(住所、所属、電話番号、メールアドレス) 締切:9月1日(金)

2) **本登録**:①発表種別(実践報告 or 研究発表)、②演題名、③要約(300字以内)、④発表者および所属、④申し込み者及び連絡先(住所、所属、電話番号、メールアドレス)
締切:9月30日(土)

4. 申し込み先: メール oshino-shuji@spu.ac.jp

5. 申し込み〆切:エントリーシート9月1日(金)、本登録9月30日(土)

6. 審査報告:10月10日ごろ

【参加申し込みについて】

本大会はどなたでもご参加いただけます。参加費用は以下の通りです。

1. 事前申し込み

勉強会(会員のみ)	2,000円
大会 正会員	6,000円
懇親会 正会員・一般	4,000円、学生2,000円、

2. 当日申し込み

大会 正会員	7,000円、一般8,000円、学生2,000円
--------	--------------------------

3. 事前申し込み期限

10月31日(火)まで

本大会の参加につきましてはお申し込みフォームにてお申し込みいただき、参加合計金額のクレジット決済・振込みを以って受付完了となります。入金後のキャンセルにつきましては返金いたしませんので、ご了承ください。

お申し込みフォーム:学会ホームページ <http://asaet.org/> より

【大会サポーター募金へのご支援のお願い】

当学会はまだ認知度が低く、学術大会参加者数も少ないため、会員の方々の会費および自主的なご協力により運営されております。そのため、運営予算も限られ、会員の方々のボランティア精神に頼っている状況です。

そこで、本学術大会では「大会サポーター」として、大会を成功させるための縁の下の力持ちを募集させていただきます。一口5000円で大会プログラムにお名前とご所属を掲載させていただきます。会員、非会員を問いません。広くみなさまにお願いいたします。

どうぞ学術大会の成功をサポートいただきたく、学術大会事務局一同より心からお願い申し上げます。

例	「大会サポーター	介在 太郎 (NPO 法人 介在研究会)」
	「大会サポーター	介在 花子 (個人)」

申し込みにつきましては、参加申し込みフォームをご利用ください。